

一つにする接着剤

第3編第1章



聖霊が私たちに働かれることの中で最も重要なことを一つあげるとすれば、それはやはり私たちの心に信仰を起こさせることだと言えます。私たちはただ信仰によってキリストの御前に出ることができますが、その信仰はただ聖霊の働きによって受けることができるものなのです。ヨハネの証言は確実です。まず彼はヨハネによる福音書1章12節でキリストを信じる人々だけ神の子とされる特権を与えられたと語っています。そしてその後の13節でその信仰はただ超自然的な恵み、聖霊のみ業によってだけ与えられると宣言しているのです

人類の歴史上で最もすばらしい発明品は何でしょうか？ ノーベル賞を受賞したような優れた学者たちがインターネットで激論を戦わせました。主に次のようなものが強力に推薦されました。印刷技術、時計、言語、モーツァルトの音楽、民主主義、数学の微積分、地動説、数字の0の発見、貨幣、相対性理論、蒸気機関、飛行機、コンピューター、デジタル情報などです。その中でも興味深いものとしては鏡、消しゴム、眼鏡といったものもありました。

あなたは何を推薦しますか。もしかしたら、車の車輪、電話、アスピリン、電球、ファスナーなどもこの世のあり方を完全に変わってしまったものの一つと言えるかもしれません。さらに、私たちが無視することができないものももう一つあります。それは接着剤のようにものともものをつなぎとめる道具です。それがなかったとしたら今の世の中は全く違った世界になっていたことでしょう。糊、ボンド、ボルトとナット、紐などのような物と物をつなぎ止める道具がない世界を想像してみてください。現在の私たちの生活に接着剤のような道具はなくてはならない存在となっています。聖霊の働きも私たちにとってはこの接着剤のようにものともものをつなぎ止める道具と同じものだと考えることができます。

第1節 聖霊は私たちをキリストと一つにする接着剤のようなものです

キリストは私たちを幸せにすることができるすべての良きものを持っておられます。そして父なる神は私たちに与えようとされるすべてのものをみなキリストに与えてくださったのです。そのために私たちはどんなことがあってもキリストに結びつかなければならないのです。キリストが持っておられるその豊かなものすべてを私たちのものにしようとするならば、まずその方とつ



ならなければならないからです。そうでなければ、キリストが持っておられるものすべては私たちと全く何の関係もなくなってしまうためです。

聖書の表現によればキリストが私たちの頭となられたのは、彼のものすべてを肢体である私たちに分け与えられるためであり（エフェソ 4:15）また彼が長子となられたのは、彼が受け取ったものすべてを私たちが受け取ることができるようにしてくださるためだと語られています（ローマ 8:29）。そうでなければこのような驚くべきことがどうして私たちに起こることができるでしょうか。

もちろん、キリストを受け入れて私たちがキリストとひとつとなると言うことは信仰によってのみ可能となるものです。しかし、信仰はすべての人のものではありません。そのような点から見ると私たちはキリストと私たちを固く結びつけてくれるある神秘的な作用について関心を持たざるをえません。何がある人に信仰を与え、またキリストと一つの体とさせるのでしょうか。その神秘的な働きが聖霊なる神の働きなのです。私たちはこの神秘的な作用によってキリストに結びつけられ（ローマ 11:17）キリストを服のように着ることができるようになるのです（ガラテヤ 3:27）。

水と血を通して来られたキリストは聖霊によって御自身に関する証しをなされるのです（第一ヨハネ 5:6,7 参照）。天で証言されるものは三つ - 父とみ言葉と聖霊 - であるように、地上でも三つ、つまり水と血、そして聖霊がおられるのです（第一ヨハネ 5:7,8 参照。イエスは水の洗礼を受けられ、また十字架で血を流されることで真の人間として来られた神の子であることを証言され、聖霊はその御子と彼のなされることを私たちの心に印章を押すように確信させてくださるのです）。使徒ペトロも信徒は聖霊の聖なる働きによって従順にさせられ、イエス・キリストの血を注ぎかけていただくために選ばれたと証言しています（第一ペトロ 1:2）。簡単に言えば、聖霊はキリストと私たちを効果的に結びつけてくれる接着剤のようなものなのです（第一コリント 6:11）。

第2節 キリストはどのように、そしてなぜ聖霊を受けられたのか

この問題についての答えはキリストと私たちの中で聖霊がどのような役割をはたされるかをさらに明らかにしてくれるでしょう。キリストは特別な方法で、そして特別な目的のために聖霊を受けられました。まず「どのように」という質問に答えましょう。キリストはヨハネから洗礼を

受けて水から上がられたときに、昔の預言者たちが預言した通りの聖霊の油注ぎを受けられました（イザヤ 61:1,2；ルカ 4:18；マタイ 3:16,17、「これはわたしの愛する子」という父の証言と共に聖霊を受けられたのです。ヨハネはその日、聖霊が臨まれたことをイエスがキリストであることを証言するための印しだと理解しました）。

それならばキリストはなぜ聖霊を受けなければならなかったのでしょうか？すでに学んだ内容ですが、キリストが聖霊をそのように独特な方法で、受けられたのはすべての民に聖霊を降り注ぐ（ヨエル 2:28）仲保者と僕となるためでした。父の聖霊は御子によってこの世に注がれます。それで聖霊は父の霊とも呼ばれ、またこの霊とも呼ばれるのです。聖霊は父と子から出ると語られています（ローマ 8:9）。

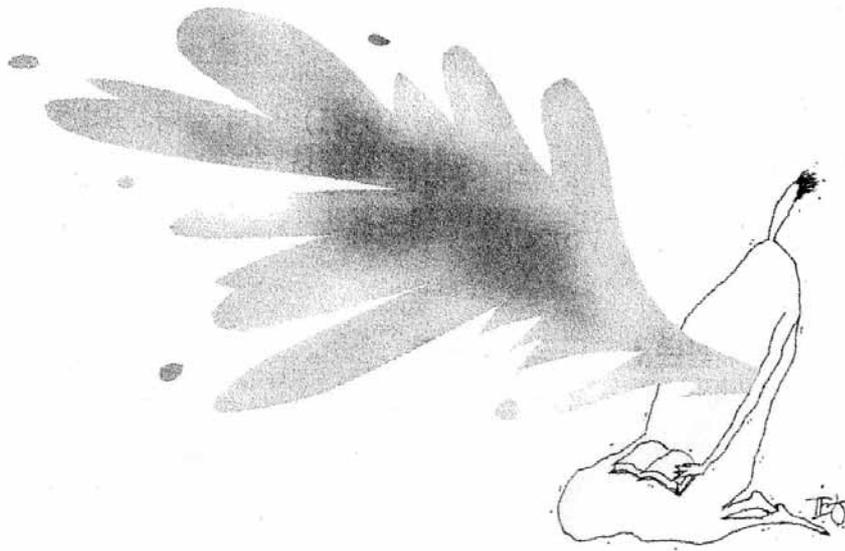
ですから私たちが父なる神から受けるすべての恵みと賜物によって父と同時にキリストに感謝と栄光を献げることは全く誤りではないのです。それは当然なことです。このように父なる神がご自分の民に与えられるすべての聖い賜物はすべてキリストに委ねられているのです。イエスが「渇いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい」（ヨハネ 7:37）と招くことができるのもすべてこのためなのです。

整理してみましょう。聖霊がキリストの霊と呼ばれる理由は二つあります。一つは神の永遠なるみ言葉であるキリストも聖霊によって神と結びつけられているためです。またもう一つは彼が聖霊を私たちに与えてくださる仲保者となられたためです。このようにキリストの特別な身分とみ業のために聖霊はキリストの霊と呼ばれるのです。私たちに第二のアダムとして来られたキリストは命を与える霊（第一コリント 15:45）として天から私たちのために派遣された特別な方なのです。

キリストはご自分の民と一つとなられるために彼らのうちに聖霊を与えられ、特別な命を与えられますが、この命は悪人たちも持っているような自然的な命とは全く違ったものです。ですから私たちは聖霊との交わりがなければ命もなく、父の愛も、キリストの恵みも味わうことができないのです（ローマ 5:5、8:11）。そのために使徒パウロは私たちすべてに父の愛とキリストの恵みを求めながら同時に聖霊の交わりがあるようにと願ったのです（第二コリント 13:13）。

第3節 聖書は聖霊をどのように呼んでいるか

今度は呼び方の問題について考えてみましょう。聖書に表された聖霊の呼び名を学ぶことは私たちの救いについての知識を完全に新しくさせ、固い基礎を据えようとする今、非常にふさわしいことだと言えます。まず、聖霊は聖潔の霊と呼ばれています（第二テサロニケ 2:13；第一ペトロ 1:2；ローマ 1:4）。聖霊が私たちを世から選び出して神の永遠なる計画を待望する者として造り替えてくださるためです。



また子とする霊と呼ばれています(ローマ 8:15)。聖霊の力によって私たちが神のひとり子キリストにあって無代価で神の子とされるためです。聖霊の恵みによって私たちは祈るときにも限らない信頼感を持って「父なる神よ!」と呼び、大胆に祈ることができるのです(ガラテヤ 4:6)。また、聖霊は私たちの救いを保証する印しともと呼ばれています(第二コリント 1:22;エフェソ 1:14)。この世では旅人のようであり、死んだ者と同じようなものである私たちに聖霊が永遠の命を与えて、その命を確実に保証してくださり、その救いが永遠に変わることがないという確信を私たちの心に刻んでくれるためです。同じような理由で聖霊は命ともと呼ばれています(ローマ 8:10)。

また聖霊は私たちの罪を洗い清めてくださり(エゼキエル 36:25)、私たちの魂の渇きを解決し(ヨハネ 7:37、イザヤ 55:1、44:3)、私たちのうちに蒔かれた永遠の命の種を成長させ、義の芽を生えさせるために水にもたとえられてもいます。また聖霊は「油」、あるいは「油注ぎ」という名前も持っています。人々に恵みを小川の水のように注ぎ、彼らの命を回復させ、力強く育て上げるためです(第一ヨハネ 2:20, 27)。その反面私たちの情欲を燃やし尽くし、確信の熱情と聖なる愛の炎を起こさせるために火にもたとえられているのです(ルカ 3:16)。

簡単にまとめれば、聖霊は天のすべての賜物が私たちに流れ込むようにさせる救いの泉であり(ヨハネ 4:14)、神がそのすべての権能を行使する手(使徒 11:21)なのです。従って私たちにあるすべてのよきものはみな聖霊の恵みの実なのです。聖霊は私たちの心の中で働き続けながら、時には感動させ、時には慰め、励まし、刺激されるのです。

私たちは私たちの力で生きているのではなく、聖霊の恵みとその力によって生きているのです。もし聖霊が私たちから離れてしまうならば、私たちには闇と邪悪さと汚れのほか残るものはないでしょう(ガラテヤ 5:19 - 21)。同じようにキリストは聖霊によってだけ私たちと一つにされるのです。私たちは聖霊の確かな仲立ちによってキリストと結合されるのです(エフェソ 5:30)。

第4節 信仰は聖霊の働きによるもの

しかし聖霊が私たちに働かれることの中で最も重要なことを一つあげるとすれば、それはやはり私たちの心に信仰を起こさせることだと言えます。私たちはただ信仰によってキリストの御前

に出ることができますが、その信仰はただ聖霊の働きによって受けることができるものなのです。ヨハネの証言は確実です。まず彼はヨハネによる福音書 1 章 12 節でキリストを信じる人々だけ神の子とされる特権を与えられたと語っています。そしてその後の 13 節でその信仰はただ超自然的な恵み、聖霊のみ業によってだけ与えられると宣言しているのです。

これと同じような証言は聖書のあちらこちらにたびたび登場します。ペトロがイエスを「あなたこそキリストです」と告白したときも、イエスはペトロをほめながら、その告白はただ神の恵みによってなされたものと教えてくださいました（マタイ 16:17）。パウロもエフェソの信徒たちを約束の聖霊によって証印を押された者たちと表現しています（エフェソ 1:13）。整理してみると、私たちのための完全な救いはただキリストにだけ発見することができますが、私たちをキリストに導くのはただ聖霊の光とその働きにだけあるということになるのです（参照、第一テサロニケ 2:13；第一ヨハネ 3:24；ヨハネ 14:17、6:44、17:6；第一コリント 3:16、17；第二コリント 6:16）。

結びの言葉

今、私たちが日ごとに聖霊の満たしを求めなければならない理由は明らかでしょうか。私たちが聖霊の満たしを受けるということはそれだけ私たちがキリストの恵みと父の愛を与えられ満たされるという意味なのです。聖霊の神秘的な働きがなければ神がキリストに委ねられたその驚くべき祝福と賜物が私たちとは全く関係のないものになってしまいます。聖霊の働きはキリストと私たちをぴったりと結びつける強力な接着剤と同じで二つのものを強固に連結させる道具と同じものなのです。私たちが聖霊に満たされることを祈りましょう。